

# 研究実施のお知らせ

2017年5月15日 ver.1.0

## 研究課題名

島根大学医学部附属病院 VTE(静脈血栓塞栓症) 予知・予防・治療ガイドラインの検証

## 研究の対象となる方

2007年8月から2018年3月の間に島根大学医学部附属病院で下肢静脈エコー検査を受けられた方

## 研究の目的・意義

静脈血栓塞栓症(venous thromboembolism; VTE)は深部静脈血栓症と(DVT)と肺塞栓症(PTE)をあわせた疾患概念で、静脈内に血栓という血の塊ができて血管が詰まる病気です。エコノミークラス症候群として知られていますが、長時間同じ姿勢でいることや外傷・骨折・手術・出産・感染・がんなどで血が凝固しやすい状態の時におこります。とくに重症 PTE の場合は生命にかかわります。

当院では、島根大学医学部附属病院 VTE 予知・予防・治療ガイドライン (GL) を 2013 年 8 月にオンライン化し、カルテ上でリスク評価を入力するようにシステム変更を行いました。その結果、周術期患者では下肢静脈エコーの依頼件数が急増しています。しかし、VTE 発症が予防できたのか否か、については明らかになっていません。また、GL の評価項目として D ダイマー (DD) を取り扱いについても議論になっています。DD 低値は VTE の除外に有用ですが、DD 高値の場合は他疾患との鑑別が必要です。一方、最近では可溶性フィブリン (SF) の VTE 診断および治療効果判定に対する有用性も知られています。

そこで、GL 導入前後における新規 VTE 発症率の推移と重症度を調査することにより、GL 導入による臨床効果と DD カットオフ値の妥当性について検証を行うことを目的に本研究を行います。

## 研究の方法

観察項目としては、患者背景 (年齢、性別、手術の有無)、下肢静脈エコー検査の結果 (血栓の有無、血栓の性状)、血液検査結果 (DD 値、SF 値)、VTE に関する項目 (VTE の発症、VTE 重症度) などです。

本研究に携わるすべての研究者は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って本研究を実施します。データは匿名化され、研究結果を学会報告や論文で行う場合にも、個人を特定できないようになります。

## 研究の期間

2014年6月～2019年3月

## 研究組織

この研究は島根大学医学部附属病院検査部が行います。  
研究代表者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：  
島根大学医学部臨床検査医学講座 矢野彰三

## 試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2018年4月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：  
島根大学医学部臨床検査医学講座 矢野彰三  
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1  
電話 0853-20-2312 FAX 0853-20-2409